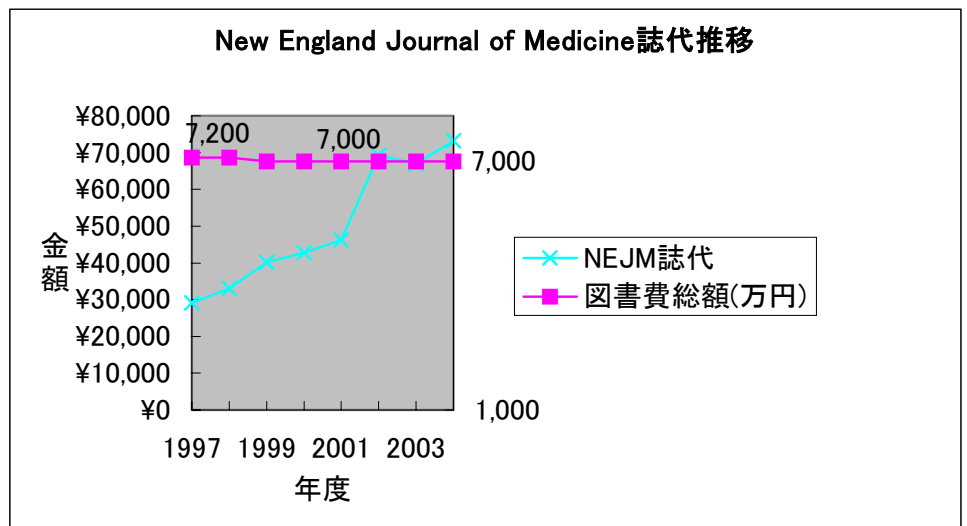
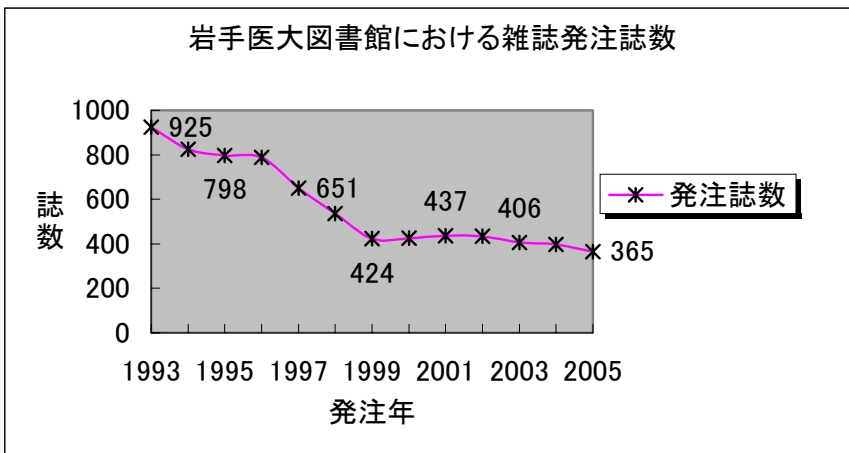


《第2号》 ***図書館の蔵書は、誰がどうやって選んでいるの?*** <雑誌編>

雑誌がピンチ!! -前編- 今、図書館では、雑誌の購入中止を余儀なくされています。今号と次号の2回にわたり雑誌見直しの実態をお知らせします。

本来雑誌は、逐次的に刊行される継続性のある資料なので、図書と違い毎年のようにタイトルが入れ替わるようなことはありません。しかし、最近では、外国雑誌価格の高騰や円安傾向にかかわらず、図書館の予算は横ばいという苦しい状況におかれ、購入の見直し、中止を余儀なくされています。これに伴い、本学では平成10年度より助教授講師会から選出された委員で構成される「雑誌見直し小委員会」が中心となり、購入雑誌の見直しを行っています。

見直し小委員会では購入雑誌を中止する際、自分たちの研究活動にダメージが直接跳ね返ってくることを覚悟して、予算の都合上苦渋の選択を強いられているのに、あれもやめたこれもやめたと方々から叩かれるとか。購入雑誌は教授会の承認を得てから決定されますが、見直し小委員会が中止の対象を絞り込んだということでクローズアップされるようです。雑誌が減るたびに図書館カウンターでも同様のクレームがきます。岩手医大附属図書館における最近12年間の雑誌発注誌数の推移と、価格が高騰している外国雑誌の中から New England Journal of Medicine を例にして予算横ばいの現状との関連をグラフにしましたので参考にしてください。



※次号は雑誌見直しの際のポイントをお伝えする予定です。

ご意見・ご質問等ございましたら、図書館 受入目録係 ukeire@lib.iwate-med.ac.jp までご連絡ください。

図書館トリビア

図書館には「開かずの扉」がある!!

'72年に落成した本学図書館の正面玄関は通常開かれることはありません。これは当時の篠田理事長のご意向で「平素は閉鎖する(岩医大月報 124号より)」とされ、通常開放されておられません。最も近いところでは平成元年、日本医学図書館協会主催のセミナー開催時に当館が会場となり開扉されました。

同じく、大阪府立中之島図書館にも「開かずの扉」あり、創立100周年記念事業として今年2月に50年ぶりに開扉されたとか。その際交響楽団によるファンファーレが鳴り響いたそうです。本学図書館の「開かずの扉」次はいつ誰の手によって開けられるのか?! @^@

メールマガジンに関する意見・質問は、運用係 unyo@lib.iwate-med.ac.jp まで。

発行：岩手医科大学附属図書館